

# 科技高いきもの記

Vol.2 2020.6.29

佐藤龍平

## アリを専門で狙うクモ アオオビハエトリ



両手を上げてバンザイ

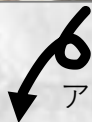
5月27日、校庭の片隅を歩いていたたら、可愛らしいクモを見つけた。頭の毛が紫色に輝いていて美しい。ハエトリグモの仲間の**アオオビハエトリ**のメスだ！

バンザイのように両手（第一肢）を上げながら歩いているので、何してんだ？と思って観察していると、目の前にアリが現れた。アオオビハエトリはアリを好んで食べる**アリハンター**なのだ。“ハエトリグモ”という名前だが、この仲間は必ずしもハエだけを狙っているわけではない。アオオビハエトリの場合はハエトリというよりは“アリトリ”という名前の方が合っていそう。ちなみに、ハエトリグモはびよこびよこ飛び跳ねるので、英語では**Jumping spider**と呼ばれている。室内でよく黒っぽい小さなクモが飛び跳ねているのを見るが、あれもハエトリグモの仲間である。

さて、このバンザイに意味はあるのだろうか？調べてみると、前あしは捕食の時に限らず**ほぼ常に上げて**いるのだそう。アリを騙すのに役立つのか、単に歩きやすいのか、、、この行動の意味は謎である。



クモににらまれたアリ



アオオビハエトリの捕食行動の観察



今度は片手上げポーズ  
これをくり返してアリに近づく。



クロヤマアリの触角を捕まえた！  
触角でがっちりはさんでいる。



アリは噛まれてすぐにぐったり。  
動かなくなってしまった。



アリをかついでお持ち帰り。  
その場で食べるんじゃないのか...